

九州厚生局長 殿

琉球大学医学部附属病院長
村山 貞

琉球大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 22 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	38 人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	172人	156人	320.5人	看護補助者	73人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	9人	13人	22.8人	理学療法士	6人	臨床検査技師	29人
薬 剤 師	19人	3人	22.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	4人	その他	0人
助 産 師	15人	0人	15.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	467人	36人	497.3人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	0人	1人	0.8人	栄 養 士	1人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	0人	1人	1.0人	歯 科 技 工 士	0人	事 務 職 員	156人
管理栄養士	5人	1人	6.0人	診療放射線技師	23人	その他の職員	22人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	496.4人	19.1人	515.5人
1日当たり平均外来患者数	989.6人	70.3人	1,059.9人
1日当たり平均調剤数			7,891 剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。



高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	(該当なし)	取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	23人	・膿疱性乾癬	10人
・多発性硬化症	10人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・重症筋無力症	32人	・原発性胆汁性肝硬変	28人
・全身性エリテマトーデス	124人	・重症急性膵炎	1人
・スモン	0人	・特発性大腿骨頭壊死症	62人
・再生不良性貧血	13人	・混合性結合組織病	18人
・サルコイドーシス	52人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	8人	・特発性間質性肺炎	7人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	113人	・網膜色素変性症	35人
・特発性血小板減少性紫斑病	23人	・プリオン病	0人
・結節性動脈周囲炎	14人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	147人	・神経線維腫症	8人
・大動脈炎症候群	26人	・亜急性硬化性全脳炎	6人
・ビュルガー病	31人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	10人
・天疱瘡	42人	・慢性血栓性肺高血圧症	3人
・脊髄小脳変性症	9人	・ライソゾーム病	5人
・クローン病	134人	・副腎白質ジストロフィー	1人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	3人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	4人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	53人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	1人
・後縦靭帯骨化症	40人	・肥大型心筋症	1人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	22人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	8人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	0人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	51人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリーブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	15人	・黄色靭帯骨化症	3人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	0人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	28人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・眼底三次元画像解析	・
・腹腔鏡下肝切除術	・
・「脊椎専用骨セメント」の薬事法承認に伴い椎間板摘出術 2 後方摘出術での算定が可能となった。	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	・病理部症例検討会 50回/年 (剖検:12回、その他:38回) ・検査部症例検討会 2回/年
部 検 の 状 況	部検症例数 23 例 / 部検率 13.90%

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
簡易なCYP2C19遺伝子多型検査によるH. pylori除菌率への効果	宇野 司	薬剤部	1,170,000	補	日本学術振興会
C型肝炎ウイルス複製に対する脂肪沈着、およびアディポサイトカインの作用	山城 剛	輸血部	2,860,000	補	日本学術振興会
内臓脂肪由来活性酸素種による血管障害の分子メカニズム	島袋 充生	第二内科	1,170,000	補	日本学術振興会
再生医学的視点による腫瘍内マクロファージの樹状細胞への再分化法の確立	齊尾 征直	病理部	2,080,000	補	日本学術振興会
心房細動基質同定法と与論島遺伝的心房細動家系疫学調査に関する研究	比嘉 聡	第二内科	910,000	補	日本学術振興会
中咽頭癌の放射線治療効果予測における低酸素状態に関連する遺伝子群の意義	小川 和彦	中央放射線部	650,000	補	日本学術振興会
尿路上皮癌患者尿のモノクローナル抗体RM2へ反応する糖蛋白の解析と臨床意義	松村 英理	泌尿器科	1,430,000	補	日本学術振興会
血管平滑筋細胞の動脈硬化性形質転換におけるトリグリセリド代謝の意義	松本 裕文	病理部	2,080,000	補	日本学術振興会
糖尿病合併冠動脈疾患患者における、心拍低下療法の妥当性を問う観察研究	井上 卓	専門研修センター	2,210,000	補	日本学術振興会
地域(沖縄県浦添)における慢性腎臓病患者診療の実態:自然歴、治療経過に関する研究	井関 邦敏	血液浄化療法部	2,600,000	補	日本学術振興会
若齢期の人工甘味料曝露によるレプチン抵抗性獲得機構の解明	屋比久 浩市	第二内科	2,080,000	補	日本学術振興会
脊髄虚血後の痙性対麻痺に及ぼす $\alpha 2$ アドレナリン受容体アゴニストの鎮痙作用	淵上 竜也	集中治療部	2,210,000	補	日本学術振興会
沖縄県における夜型の生活習慣が勤労者の血圧日内変動に与える影響の研究	菅原 麻世	検査部	540,000	補	日本学術振興会
ビタミンK高含有沖縄野菜の摂取制限がワルファリンの薬効に与える影響調査	又吉 哲太郎	専門研修センター	650,000	補	日本学術振興会
肝炎ウイルスモデルを用いた抗原特異的リンパ球と肝障害の炎症カスケードの解明	齋尾征直	病理部	39,000	補	日本学術振興会
腎不全発症率の地域格差の研究	井関 邦敏	血液浄化療法部	1,500,000	補	厚生労働省科研費
拠点における研究推進	井関 邦敏	血液浄化療法部	1,000,000	補	厚生労働省科研費
健診項目因子分析	井関 邦敏	血液浄化療法部	1,000,000	補	厚生労働省科研費
前立腺癌JNCDB、日米比較	小川 和彦	放射線部	400,000	補	厚生労働省科研費
コホート研究(沖縄県豊見城市)	島袋 充生	第二内科	1,200,000	補	厚生労働省科研費

健診データ(糖尿病、脂質異常症、高血圧症)のカットオフポイントの検討、心臓血管イベントエンドポイントとの関係についての臨床的検討	島袋 充生	第二内科	4,200,000	補	厚生労働省科研費
自立支援型がん情報の普及のあり方に関する研究	増田 昌人	がんセンター	500,000	補	厚生労働省科研費
当該地区における症例と臨床情報の把握と追跡	前城 達次	第一内科	1,000,000	補	厚生労働省科研費
治験の実施に関する研究(L-アラギニン)	知念 安紹	小児科	1,000,000	補	厚生労働省科研費
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助科学療法の検討	鈴木幹男	耳鼻咽喉科	409,500	委	先端医療振興財団
治癒切除結腸癌(StageⅢ)を対象としたフッ化ピリミジン系薬剤を用いた術後補助化学療法の個別化治療に関するコホート研究	佐村 博範	第一外科	73,500	委	先端医療振興財団

計 26

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第11)

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口蓋裂学会雑誌	口唇裂口蓋裂患者の顎裂部骨移植に伴う外鼻形態の変化について	新垣敬一	歯科口腔外科
Exp Ther Med	Impact of human papillomavirus genotype on response to treatment and survival in patients receiving radiotherapy for squamous cell carcinoma of the cervix	Jannatul Ferdousi	産科婦人科
産と婦	妊娠を考慮した子宮頸部初期病変への対応 円錐切除術と妊娠予後1	安里こずえ	周産母子センター
Life Style Medicine	肥満を鑑別する検査	益崎裕章	第二内科
西日本皮膚科	健康児に生じた緑膿菌感染による壊疽性膿瘍の1例	嘉陽 宗亨	皮膚科
西日本皮膚科	ブラジルで感染した皮膚型リーシュマニア症の1例	松浦 浩徳	皮膚科
J Dermatol	Phaeohiphomycosis caused by Exophiala jeanselmei in a patient with polymyalgia rheumatica.	Arakaki O	皮膚科
J Radiat Res (Tokyo).	Higher pAkt expression predicts a significant worse prognosis in glioblastomas.	Ishiuchi S,	脳神経外科
Jpn J Clin Oncol. 2010 May;40(5):456-63.	A consensus-based guideline defining the clinical target volume for pelvic lymph nodes in external beam radiotherapy for uterine cervical cancer.	Toita T, et al.	放射線診断治療学
South Med J	Pseudocirrhosis in metastatic esophageal cancer.	小橋川ちはる	第一内科
Am J Ophthalmol.	Corneal endothelial cell density and associated factors in a population-based study in Japan: the Kumejima study.	比嘉明子	眼科
Islet Equality	膵β細胞の脂肪毒性	島袋充生	第二内科
J Comput Assist Tomogr.	Subcarinal air cysts: multidetector computed tomographic findings.	Oshiro Y, Murayama S.	放射線診断治療学講座
日本気管食道科学会会報(0029-0645)61巻3号 Page291-298(2010.06)	化学放射線同時併用療法を行った中・下咽頭癌に生じた嚥下障害の検討	喜友名朝則	耳鼻咽喉・頭頸部外科
日本気管食道科学会会報(0029-0645)61巻3号 Page291-298(2010.06)	化学放射線同時併用療法を行った中・下咽頭癌に生じた嚥下障害の検討	喜友名朝則	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Hospital Dentistry and Oral maxillofacial surgery	高齢者口腔癌術後の嚥下機能評価	仁村文和	歯科口腔外科
糖尿病	Influence of visceral adiposity on insulin secretory aberrations: A lipotoxic process	島袋充生	第二内科
糖尿病	高度インスリン抵抗性と特徴的脂肪分布の異常から脂肪萎縮性糖尿病が疑われた1例	中山良朗	第二内科
糖尿病	糖尿病性ケトーシス, 体重減少にて発見された進行性膵癌の1例	仲村英昭	第二内科

糖尿病	インスリン依存状態の2型糖尿病維持透析患者に生じたケトアシドーシスの1例	平良伸一郎	第二内科
糖尿病	肥満、全身浮腫を伴う症例に対するインスリングルリジン使用の有用性	久場絵里子	第二内科
糖尿病	沖縄県住民におけるインスリン分泌能とインスリン抵抗性: 連続1865例での検討	島袋充生	第二内科
糖尿病	若齢期の人工甘味料曝露によるレプチン抵抗性獲得機構の解明	屋比久浩市	第二内科
糖尿病	酸化ストレスによる肥満脂肪組織特異的なアンジオテンシノジェン発現調節異常	小塚智沙代	第二内科
Exp Cell Res	Crucial role of vinexin for keratinocyte migration in vitro and epidermal wound healing in vivo.	Kioka N	皮膚科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Total arch replacement with associated anomaly of the left vertebral artery	Satoshi Yamashiro	第二外科
World J Gastrointest Endosc	Esophagitis dissecans superficialis and autoimmune bullous dermatoses: A review.	外間 昭	第一内科
耳鼻と臨床(0447-7227)56巻4号 Page151-156(2010.07)	気管内挿管に続発した声帯突起部癒着症の2例	喜友名朝則	耳鼻咽喉・頭頸部外科
Cardiac Practice	若年者の動脈硬化病変	加藤誠也, 松本裕文, 仲西貴也	病理部
日本口腔外科学会雑誌	口底部に生じた明細胞癌NOSの1例	仁村文和	歯科口腔外科
Eur J Dermatol	A familial case of Nagashima-type palmoplantar keratosis	Nakamizo S	皮膚科
World Journal of Gastrointestinal Endoscopy	Esophagitis dissecans superficialis and auto immune bullous dermatoses: A review.	Akira Hokama	皮膚科
Anticancer Res	Postoperative External Beam Radiotherapy for Resected Pancreatic Adenocarcinoma: Impact of Chemotherapy on Local Control and Survival.	Ogawa K	放射線部
Intern Med	Pulmonary Mycobacterium parascrofulaceum infection as an immune reconstitution inflammatory syndrome in an AIDS patient.	照屋宏充	第一内科
Otolaryngol Head Neck Surg. 2010 Aug;143(2):242-7	Oral candidiasis in patients receiving radiation therapy for head and neck cancer.	Deng Z	耳鼻咽喉・頭頸部外科
日本手術医学会雑誌	手術部看護師の針刺しリスクの評価 部署間および施設間での比較	久田友治	手術部
J Radiat Res (Tokyo).	Influence of histological subtype on survival after combined therapy of surgery and radiation in WHO grade 3 glioma.	Ishiuchi S,	脳神経外科
Am J Ophthalmol	Intraocular pressure and related systemic and ocular biometric factors in a population-based study in Japan: the Kumejima study.	照屋絵厘子	眼科
眼科臨床紀要	増殖糖尿病網膜症術後に胞状の漿液性網膜剥離を生じた1例	中村秀夫	眼科

糖尿病学の進歩	肥満脂肪組織の炎症と機能異常	益崎裕章	第二内科
Biochem Biophys Res Commun.	Ectopic coexpression of keratin 8 and 18 promotes invasion of transformed keratinocytes and is induced in patients with cutaneous squamous cell carcinoma.	Yamashiro Y	皮膚科
Otolaryngol Head Neck Surg	Oral candidiasis in patients receiving radiation therapy for head neck cancer.	Zeyi Deng	耳鼻咽喉科
Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	Total arch replacement using bilateral axillary antegrade selective cerebral perfusion	Satoshi Yamashiro	第二外科
結核	ヒト型結核菌による腸結核における感染と発病の機序	日比谷健司	第一内科
Diagn Microbiol Infect Dis	Repetitive element-polymerase chain reaction for genotyping of clinical and environmental isolates of Legionella spp.	Haroon A	第一内科
J Neurooncol.	Clinical significance of thallium-201 SPECT after postoperative radiotherapy in patients with glioblastoma multiforme.	Ishiuchi S, Watanabe T,	脳神経外科
Clin Chim Acta,	Standard warfarin dose in a patient with the CYP2C9*3/*3 genotype leads to hematuria.	Goto T, Miura M, Murata A, Terata K, Uno T*, Yamamoto K, Abe Y.	薬剤部
Ophthalmology	Ultrasound biomicroscopic configurations of the anterior ocular segment in a population-based study the Kumejima Study.	目取眞市子	眼科
日本内分泌学会誌	サイクログロブリン (Tg) 遺伝子変異の地域集積性の可能性	仲村英昭	第二内科
日本内分泌学会誌	CVD療法が著効した悪性褐色細胞腫の一例	久場絵里子	第二内科
日本内分泌学会誌	著名な高Ca血症 (18mg/dl) を認めた原発性副甲状腺機能亢進症の一例	中山良朗	第二内科
アディポサイエンス	異所性脂肪とアディポサイエンス	島袋充生	第二内科
J Neurooncol.	Clinical significance of thallium-201 SPECT after postoperative radiotherapy in patients with glioblastoma multiforme.	Iida G, Ogawa K, Ishiuchi S, Chiba I, Watanabe T, Katsuyama N, Yoshii Y, Murayama S.	放射線診断治療学講座
J Thorac Imaging	Bronchial Diverticula Detected by Multidetector-Row Computed Tomography: Incidence and Clinical Features.	Miyara T, Oshiro Y, Yamashiro T, Kamiya H, Ogawa K, Murayama S.	放射線診断治療学講座
Clin Neuropsychopharmacol Therapeutics	Lamotrigine augmentation	Syouko Kagawa	精神科神経科
Clin Neuropsychopharmacol Ther	Improvement in antipsychotic-induced hyperprolactinemia by aripiprazole coadministration in schizophrenic patients.	Kazuo Mihara	精神科神経科
日本口蓋裂学会雑誌	おしゃぶりを利用した哺乳装置で早期に経口摂取が可能となったTreacher Collins症候群とPierre Robin症候群を併じた口蓋裂児の1例	後藤尊広	歯科口腔外科
Can J Vet Res	Pathogenesis of systemic Mycobacterium avium infection in pigs through histological analysis of hepatic lesions.	日比谷健司	第一内科
西日本皮膚科	縦隔気腫、皮膚潰瘍を併発し死の転帰をとった間質性肺炎合併Clinically Amyopathic Dermatomyositisの1例	内海 大介	皮膚科

J Clin Microbiol	Use of FTA cards for direct sampling of patients' lesions in the ecological study of cutaneous leishmaniasis.	Kato H	皮膚科
ONCOLOGY LETTERS	Clinical significance of GLUT-1 expression in patients with esophageal cancer treated with concurrent chemoradiotherapy	千葉 至	放射線科
World J Gastrointest Endosc	Cytomegalovirus gastritis.	外間 昭	第一内科
Surg Neurol Int.	Resolution of immune thrombocytopenic purpura associated with extranodal B-cell lymphoma of the petroclival region after radiotherapy.	Watanabe T, Ishiuchi S.	脳神経外科
アレルギーの臨床 (0285-6379)30巻12号 Page1112-1116(2010.11)	アレルギー性鼻炎を有する沖縄県在住者におけるRAST検査結果	山下 懐	耳鼻咽喉・頭頸部外科
J Sep Sci,	A sensitive column-switching HPLC method for aripiprazole and dehydroaripiprazole and its application to human pharmacokinetic studies.	Akamine Y*, Yasui-Furukori N, Kojima M, Inoue Y, Uno T*	薬剤部
医療情報学 30S:354-359	東アジア伝統医学のモデリングに際して経験した諸課題	廣瀬康行	医療情報部
糖尿病	肥満糖尿病の病態:沖縄クライシスの現場からの考察	益崎裕章	第二内科
糖尿病	食後高血糖と内臓脂肪関連リスク:病態と介入	島袋充生	第二内科
糖尿病	血糖コントロールの動悸付けにCGMが有効であった1例	中山良朗	第二内科
糖尿病	DKAを発症したが入院26日目でインスリン注射と内服薬から離脱できた2型糖尿病の1例	久場絵里子	第二内科
World Journal of Gastrointestinal Endoscopy	Cytomegalovirus gastritis	Akira Hokama	皮膚科
Xenobiotica,	Influence of drug-transporter polymorphisms on the pharmacokinetics of fexofenadine enantiomers.	Akamine Y*, Miura M, Sunagawa S, Kagaya H, Yasui-Furukori N, Uno T*	薬剤部
Int J Radiat Oncol Biol Phys, in press	International Brachytherapy Practice Patterns: A Survey of the Gynecologic Cancer Intergroup (GCIIG).	Viswanathan AN, Toita T, et al.	放射線診断治療学
日本外傷歯学会	外傷による乳幼児期の軟組織損傷に関する臨床的検討	新垣敬一	歯科口腔外科
日本外傷歯学会	下顎骨々折における骨折線上の歯について	金城南海子	歯科口腔外科
Hospital Dentistry and Oral maxillofacial surgery	若年者における口腔扁平上皮癌の臨床的検討	狩野岳史	歯科口腔外科
Ophthalmology	Prevalence and causes of low vision and blindness in a rural Southwest Island of Japan: the Kumejima study.	仲村優子	眼科
アディポサイエンス	脂肪組織グルコシルコルチコイド過剰とアディポサイエンス	益崎裕章	第二内科
Kekkaku	Mechanisms involved in the extension of pulmonary Mycobacterium avium infection from the pulmonary focus to the regional lymph nodes.	日比谷健司	第一内科

J Infect Chemother	Organizing pneumonia pattern in the follow-up CT of Legionella-infected patients.	Haroon A	第一内科
Arch Gynecol Obstet	Rupture of pseudoaneurysm after vaginal delivery successfully treated by selective arterial embolization	正本 仁	産科婦人科
J Obstet Gynaecol	Metastatic placental site trophoblastic tumour successfully treated with hysterectomy and EMA/CO chemotherapy	長井 裕	産科婦人科
Arch Gynecol Obstet	Rupture of pseudoaneurysm after vaginal delivery successfully treated by selective arterial embolization.	永山 千晶	産科婦人科
Diabetes Care	Impaired Glucose Tolerance, but not Impaired Fasting Glucose, Underlies Left-Ventricular Diastolic Dysfunction	M.Shimabukuro/ H.Masuzaki	第二内科
糖尿病	高血糖と血管内皮機能	島袋充生	第二内科
日本臨床 増刊号	細胞内グルココルチコイド活性化酵素を標的とした治療の展望	益崎裕章	第二内科
JOURNAL OF NEURO-ONCOLOGY	Clinical significance of thallium-201 SPECT after postoperative radiotherapy in patients with glioblastoma multiforme	Gyo Iida	放射線部
Int J Clin Oncol. (in press).	Radiotherapy quality assurance of the Japanese Gynecologic Oncology Group study (JGOG1066): a cooperative phase II study of concurrent	Toita T, et al.	放射線診断治療学
Ther Drug Monit	Effects of the CYP2D6*10 allele on the steady-state plasma concentrations of aripiprazole and its active metabolite, dehydroaripiprazole, in Japanese patients with schizophrenia.	Tuyoshi Suzuki	薬剤部
Intern Med	Pneumocystis jirovecii pneumonia and alveolar hemorrhage in a pregnant woman with human T cell lymphotropic virus type-1 infection.	玉城佑一郎	第一内科
Br J Dermatol	Circumscribed palmar hypokeratosis on both hands: distinct keratin expression in multiple depressed lesions.	Masahiro Y	皮膚科
BMC Infect Dis	Hepatocyte growth factor levels in Legionella pneumonia: a retrospective study.	比嘉 太	第一内科
Pathol Res Pract	Immunopathological characteristics of immune reconstitution inflammatory syndrome caused by Mycobacterium parascrofulaceum infection in a patient with AIDS	日比谷健司	第一内科
Int J Radiat Oncol Biol Phys.	Phase II Trial of Radiotherapy after Hyperbaric Oxygenation with Multiagent Chemotherapy (Procarbazine, Nimustine, and Vincristine) for High-Grade Gliomas: Long-Term Results	Ishiuchi S, Watanabe T,	脳神経外科
日本産科婦人科学会 沖縄地方部会雑誌	当科における前置胎盤、低値胎盤の自己血輸血の検討	比村 美代子	産科婦人科
日本産科婦人科学会 沖縄地方部会雑誌	当科における頭位-骨盤位双胎に対する分娩様式の検討	金城 忠嗣	周産母子センター
日本産科婦人科学会 沖縄地方部会雑誌	卵管妊娠に対する腹腔鏡下手術の治療成績	安里 こずえ	周産母子センター
日本産科婦人科学会 沖縄地方部会雑誌	当科での40歳以上のIVF-ET症例における治療成績の検討	屋宜 千晶	周産母子センター
日本産科婦人科学会 沖縄地方部会雑誌	子宮頸癌に対する同時化学放射線療法(CCRT)の治療成績と貧血が及ぼす影響	仲本 朋子	産科婦人科

日本産科婦人科学会 沖縄地方部会雑誌	再発卵巣癌に対するリポゾーマルドキソルビシンの使用経験	平良 理恵	産科婦人科
日本産科婦人科学会 沖縄地方部会雑誌	妊娠38週に急性心不全を発症した僧帽弁腱索断裂の一例	大石 杉子	産科婦人科
日産婦内視鏡会誌	腔欠損症に対して腹腔鏡補助下造腔術 (Davydov変法) を施行した1例	銘苺桂子	周産母子センター
Diabetic.Med.	Distinct Effects of Pitavastation and Atorvastatin on Lipoprotein Subclasses in Patients with Type 2 Diabetes Mellitus	M.Shimabukuro/ H.Masuzaki	第二内科
Experimental Dermatology	Expression of keratins in cutaneous epithelial tumors and related disorders-Distribution and clinical significance.	Ichiro K	皮膚科
J Dermatol	Tinea corpor is caused by Microsporum gallinae:The first clinical case in Japan.	Hitona M	皮膚科
Clin Imaging	Pulmonary nodules: a quantitative method of diagnosis by evaluating nodule perimeter difference to approximate oval using three-dimensional CT images: A quantitative method of pulmonary nodules.	Kamiya H, Murayama S, Kakinohana Y, Miyara T.	放射線診断治療学講座

計 106

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 村山 貞之
管理担当者氏名	総務課長 濱野満夫、医療支援課長 上原葉子、 放射線部長 村山貞之、薬剤部長 宇野司、看護部長 川満幸子

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	病院日誌	総務課	各診療日誌、看護記録は院内情報システム上で共有し、一定期間ずつプリントアウトしてファイリングしている。 診療録は入院、外来別に1患者1ファイル方式で中央管理している。 エックス線写真はデジタル化後、放射線部サーバーで保管管理し、出力画像は各診療科保存としている。
	各科診療日誌、看護記録	看護部	
	検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	医療支援課 (診療録に貼り付け)	
	手術記録	手術部	
	エックス線写真	放射線部	
	処方せん	薬剤部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	
	高度の医療の提供の実績	医療支援課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部事務部 各診療科	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医療支援課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医療支援課 薬剤部	
	第規一則号第	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	安全管理対策室
	に掲条の	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	安全管理対策室
	る十	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	安全管理対策室
	体一	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	安全管理対策室
	制第		
	の項		
一保			
各号			
の状			
及			

況び 第九 条の 二十一 第三 第一 項	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	安全管理対策室	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染対策室	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	安全管理対策室	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	安全管理対策室	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染対策室
	第一 条の 十一	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染対策室
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染対策室
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染対策室
	第一 項各 号及 び第 九条 の二 十三 第一 項第 一号 に掲 げる 体制 の	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	ME機器センター
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器センター

確保の状況	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器センター
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器センター

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 村山 貞之
閲覧担当者氏名	総務課長 濱野 満夫
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 2階 小会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 件
	歯科医師	延 件
	国	延 件
	地方公共団体	延 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	75.9%	算定期間	平成22年4月1日～平成23年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数		9,048人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		8,990人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		655人
	D: 初診の患者の数		15,632人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容： ① 医療機関における安全管理に関する基本的な考え方 ② 医療に係る安全管理のための委員会その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ③ 医療に係る安全管理のための従業者に対する研修に関する基本方針 ④ 医療機関内における医療事故報告書の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 ⑤ 医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ⑥ 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 ⑦ 患者からの相談への対応に関する基本方針 ⑧ その他医療安全の推進の為に必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 14 回
・ 活動の主な内容： ① 安全管理の対策及び教育に関すること ② 医療事故の判定に関すること ③ リスクマネジメント・マニュアルに関すること ④ 医療事故が発生したときにおける事実確認・措置及び対策に関すること ⑤ 医療紛争が生じたときの拡大防止に関すること ⑥ 訴訟が提起されたときの対策に関すること ⑦ その他安全管理、医療事故、医事紛争及び訴訟に関する重要事項	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容： ① 医療機器の安全について ② 患者と医療人とのより良い関係をめざして ③ 「急性期医療における臨床倫理、人工呼吸器外しの事例検討」 ④ 処方箋の記載方法の統一とリスクマネジメント ⑤ “5S”について — 整理・整頓・清掃・清潔・躰 — ⑥ 放射線部における医療安全	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ① インシデントに関する対策事項の提出 ② 病院管理者による院内巡視を行い、直接的に指導・確認をする。 ③ リスクマネジャー連絡会議・安全ニュース等で情報の共有を図る	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2 名) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (6 名) ・ 無

⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 所属職員： 専任（ 3 ）名（GRM：2名“医師・看護師”事務担当：1名） 兼任（ 1 ）名（室長） ・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ① インシデントレポート等の集計と分析、現場への必要な情報の周知 ② 各リスクマネージャーとの連絡調整 ③ 各部署及び職員に対する指導・助言 ④ 院内巡視による安全点検と指導 ⑤ 安全管理に関する教育・研修の企画・立案・運営 ⑥ 安全相談窓口に関すること ⑦ 安全管理に関する診療ガイドライン等の作成への参画 	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	☑・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">① 院内感染対策に関する基本的な考え方② 院内感染対策委員会の設置に関する基本事項③ 感染対策室および感染対策実務者会議の設置に関する基本事項④ 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針⑤ 院内感染発生状況の把握と報告に関する基本事項⑥ 院内感染発生時の対応に関する基本事項⑦ 院内感染対策指針の閲覧に関する基本方針⑧ 院内感染対策の推進に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 3 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">① 院内感染対策に関し、予算、施設、整備など重要な事項に関すること② 院内感染に対するマニュアルの作成などの事項に関すること③ 院内感染対策についての周知徹底や啓発などの事項に関すること④ 院内感染が判明した場合の報告および対応などの事項に関すること⑤ その他、院内感染対策に関する重要な事項	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 3 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">① 第1回研修会 感染対策の基本—あなたはすぐに対応できるか—② 第2回研修会 感染制御における最近の考え方③ 第3回研修会 当院での感染対策事例「CD感染対策事例」「皮膚科におけるMRSA感染対策」	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (☑・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none">① 感染対策室員 (ICT) ミーティングにおいて、細菌分離状況の確認を行う。② ICTラウンドを行い、直接的に指導・確認を行う。③ 感染対策実務者会議および感染対策リンクナース委員会等での情報の共有を図る。④ ICTニュース、通知文書などでの情報提供	

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第1回：H22年6月22日（火）「医療機器の安全について」 琉球大学医学部附属病院ME機器センター主任 小田正美 先生</p> <p>第2回H22年12月17日（金）「処方箋の記載方法の統一とリスクマネジメント」 国際医療福祉大学附属病院薬剤部 統括部長 土屋文人 先生</p> <p>第3回：H23年1月26日（水）「“5S”について」 テルモ株式会社安全情報管理部安全情報管理者 生野利子先生</p> <p>第4回：H23年2月21日（月）</p> <p>①『CDの感染対策事例』原永修作 先生 ②『皮膚科におけるMRSA感染対策』眞鳥繁隆 先生 ③『放射線部における医療安全』與儀 正 先生</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>手順書を院内各部署に配置している。日常的には各部署の責任者が手順書に基づいて業務が行われているかをチェックする。また病棟担当薬剤師が定期的に巡回し、さらに年 2 回程度は手順書に基づく業務が実施されているかをチェックリストを用いて確認している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/>・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>1) 薬剤の取り違い防止策として</p> <ul style="list-style-type: none">・ 外観類似薬リスト（内服薬、注射剤）を作成し、各病棟へ配布し注意喚起した。・ 各病棟において規格違い、類似名称有りのシールを貼付した。 <p>2) ハイリスク薬剤の安全管理</p> <p>業務手順書のハイリスク薬（要注意薬剤）リストを日本病院薬剤師会指定のハイリスク薬分類に準じて指定薬数を内服103種、注射剤113種に増加した。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 薬剤部内では配置棚を別に設け別管理とし注意喚起した。・ 各病棟においては、「ハイリスク薬」のシールを張り注意喚起した。 <p>3) 注射用抗がん剤の混合調製</p> <ul style="list-style-type: none">・ 従来は外来化学療法室のみ混合調製していたが、平成23年9月現在、レジメン登録した抗がん剤は殆ど全て薬剤部で安全キャビネットを使用して混合調整している。 <p>4) インスリン一覧表の作成</p> <p>インスリン関連のインシデント防止ため、当院採用のインスリン一覧表を改定し病棟に配布。</p>	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年75回(延べ数)
・ 研修の主な内容: 医療機器導入時の研修、人工呼吸器、除細動器、血液浄化装置、保育器、補助循環装置、放射線装置の定期研修を行っている。 平成22年度は、延べ75回、受講者は延べ2626名に対し行っている。 全体職員研修は医療安全、薬剤、医療機器、感染部門と共同で3回開催した	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (☑・無) ・ 保守点検の主な内容: 院内において35品目(590台)の医療機器において定期点検を計画的に実施している。 人工呼吸器、保育器、除細動器、血液浄化装置、放射線装置、補助循環装置は最低1年に1回は、院内定期点検、2年に1回は、業者に依頼し点検をおこなっている。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (☑・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容: ME機器センターがPMDAや学会、業者からの不具合情報等を収集分析し、必要時各部署に回覧すると同時に院長に報告する。月に1度の頻度で医療機器安全専門員会を開催し、院内で起こった医療機器に関するインシデントや不具合情報を検討している。 また必要に応じ手順の見直しや業務改善を行っている。	